

# \* \* イ カ ナ ゴ 情 報 No.3 \* \*

## 今漁期の漁獲物標本測定を実施

### 3月末以降にふ化した群が主体. 終漁時期は5月末頃が目安か

中央水産試験場  
後志南部地区水産技術普及指導所

#### 調査の概要

2011年5月18日に、今漁期の4月27日から5月17日までに採集していただいた島牧・寿都海域の漁獲物標本を指導所に持ち寄り、漁協と役場の皆様、指導所職員、水試職員で体長測定を実施しました。現在までの資源状況などについて検討しましたので、お知らせします。

- ・ 3月下旬以降にふ化した群を主体に漁獲物を構成
- ・ 成長は0.7~0.8mm/日と例年並みで推移
- ・ 5月17日時点で、35mmモード群と、29mmモード群が漁獲の中心

今漁期も発生時期の異なる5~6群が漁獲対象となっており、これらふ化群の成長傾向を下図に示しています。前報で報告しました初漁期調査(4月27日)で主群とみなした3月末頃にふ化した群(図中の■)が、5月初め頃より適正サイズに達しました。5月中旬に入ると4月上旬頃にふ化した群(図中の▲、×)が適正サイズに達し、これら3群を主体として現在までの漁獲物を構成しています。その成長量は、一日あたり0.7~0.8mmと、ほぼ例年並みで推移しています。このままの成長でいくと、3月末頃のふ化群(■)が40mm台になるのが5月25日頃、続く▲、×の群も5月終わりには40mm前後に達するとみられます。さらに後続のふ化群(\*、●)も見えていますが、最近の漁獲物中にさほど多くは混じっていないようです。これら後続群の豊度次第では6月上旬まで漁が続く可能性もありますが、今の所は、5月末頃が終漁時期の目安となりそうです。

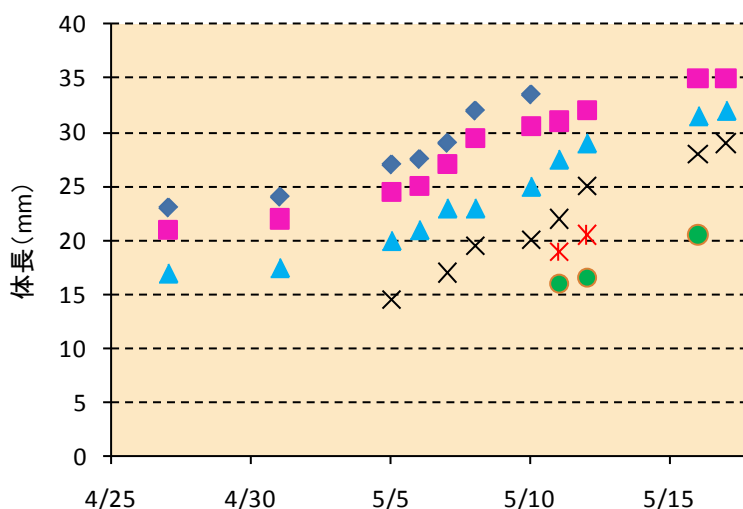


図 体長組成のモードの変化